

芳泉中発未来へ

「生きる力」を育む教育をめざして

No. 4
令和3年9月7日
芳泉中学校
学校だより編集部

緊急事態宣言下、二学期スタート！

緊急事態宣言下の八月三〇日（月）、二学期がスタートしました。心配事は尽きませんが、できることにしっかりと取り組んでいきたいと思います。始業式での正好校長からの話をまとめてみました。再確認し、二学期を充実したものにしていきたいと思います。

する。教室の窓を開ける。こまめな手洗い。給食中はしゃべらない。などを徹底していきましょう。

また、始業式前に多くの表彰の伝達をしましたが、この夏休みの間、部活動を頑張った人、試合やコンクールに向けて全力を尽くした人が多くいました。うれしい限りです。そして、この夏で部活動を引退した3年生の皆さん、お疲れ様でした。部活動の苦しさ、厳しさ、そして、そこで結んだ友情は人生の宝です。それらの宝に助けられるときがきつと来るはずですよ。

今学期は、学級、学年、学校での自分の立ち位置を見極め、落ち着いて自分を見つめ、周囲を見渡し、自分自身が輝く場所を探していきたいと思います。みんなには仲間がいます。みんなで力を合わせ、素晴らしい二学期にしていきたいと思います。」と話されました。

この後、早速、自己診断テストや課題テストを行いました。翌日も引き続きテストでしたが、みなさんは、真剣に取り組んでいました。みなさんの生き生きとした笑顔や姿、真剣な様子を今学期もしっかり見せてください。期待しています。



体育会のメインである応援合戦はできませんが、学年別リレー、学年種目だけは、体育の時間の中で実施し、可能な形でリレーに燃えてみましょう。今、私達に求められているのは、様々な制約条件の中で、いかに最適解を見つけていくかということです。また、コロナ対策についてもこれまで以上にしっかりと全員で取り組んでいきましょう。具体的には「必ずマスクを着用



換気をしっかりと実践する生徒

来年度一年生からの新制服決定！

八月三〇日に第十回の制服検討委員会があり、ついに新制服が決定しました。

生徒総会で女子もズボンを着用できるようにしてもらいたいという意見が出され、防犯、防寒の観点や各種多様性への対応の必要性、また、新型コロナウイルス等機能面を考慮し、ブレザータイプの制服の検討をスタートしました。そして、昨年度より新旧PTA役員と中学校教職員十名で組織した検討委員会で、検討を重ねてきました。

決定までの期間、該当学年の小中学生保護者、中学校保護者、教職員などに三回のアンケートを実施し、みなさんにご協力をいただきました。ありがとうございました。三回目のアンケートでは、ABC

の三つのパターンのデザインが提案され、投票の結果を踏まえ、検討委員会で協議し、スラックス・スカートが同柄のチェック（芳泉中オリジナル柄）のデザインBの制服に決定しました。決定した制服は、現在校長室前に展示しています。



エンブレムデザインも決定

また、ブレザーに付けるエンブレムのデザイン画を五月から六月にかけて募集したところ、十五件の応募がありました。保護者の方にも応募してくださいとありがたかったです。

最終的に、二年生の亀山こころさんのデザインをモチーフに制服業者のデザイナーがエンブレム画を作成しました。亀山さんは、制服の胸元に付けるエンブレムを誇れるものにしたという思いで、芳泉中学校の学校目標をテーマに、芳泉中を「木」にたとえ、エンブレムデザインを制作しました。また、デザインに対する思いも文章で表してくれました。紹介します。

学校教育目標は「自主」「創造」「忍耐」です。

木の根から幹・枝の部分は「自主」「忍耐」を表しています。土の栄養を蓄えて根を張り、成長する幹の姿は卒業後の進路に向けて人としての土台をつくっている本校の姿と重なっていると思います。また、日々、目標をもって主体的に行う勉強や部活動の練習、体育会の練習や合唱コンクールの練習などは、成功を目前にした時の耐えている枝や幹とイメージが重なり、強い風にも負けない枝や幹の忍び耐えている姿が連想されました。「自主」「忍耐」を表しました。

この部分が一番大切だと思います。よりよい未来、進路を創っていくということが大切で、この部分で「創造」を表しました。またあらゆる方向に種類も色もバラバラな葉や花・実を本校生徒に例えて十人十色いろいろな人がいるということも同時に表しました。



なお、エンブレム中央のゴールドの部分は「芳泉」の「H」を表現しています。

災害時を想定した給食を体験

九月一日は「防災の日」で、八月三〇日から九月五日は防災週間です。今や、どの地域においても、地震や台風・豪雨・洪水など自然災害



が起きてもおかしくありません。災害に対する認識を深めることは大切なことです。その防災週間中の九月三日（金）に、防災給食として「救給コーンポタージュ」が出されました。非常食を食べる体験をしておくことで災害時でも安心して食事をすることができると思います。当日の献立は、バターロールパン・牛乳・ポイルウインナー・救給コーンポタージュ・ミックスフルーツでした。救給コーンポタージュは玄米入りで、袋の底が広くなっているため、立てることができ、封をまつすぐ開けることができます。特定アレルゲン二十八品目を使用せず、加熱しなくてもそのまま食べられるようになっていきましたが、給食では温かいものが提供されました。

毎年、九月に実施される芳泉小学校区の防災訓練に、中学生がボランティアとして活躍させてもらっていました。残念ながら、今年も昨年同様、新型コロナウイルスの関係で中止となりました。しかし、いつ災害に遭遇するか本当に分かりません。命を守るために、日ごろから防災知識を身につけ、備えをしっかりと、災害発生のおそれがある場合には防災情報やキャッチする習慣や実践力を身に付けておきましょう。

暑く燃えた夏。生徒は部活動で大健闘！

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地区別合同懇談会や浦安ふれあい夏まつりなど様々な地域行事が中止された中、東京オリンピック、パリオリンピックが開催され、日本選手や世界中のアスリートの活躍している様子をテレビで観戦していた方も多いと思います。この夏休みは、前半は非常に暑く、中盤は長雨に悩まされ、部活動の練習も十分できなかったと思いますが、どの部活動も熱中症対策、感染対策を十



分しながら一生懸命頑張っていました。県大会に勝ち上がり中国大会、全国大会に出場した生徒もいます。陸上競技部の3年庭山晴希君は全国中学校陸上競技大会400mで6位入賞、ダンス部は全国中学校ダンスドリル選手権ヒップホップ女子メディアム編成の部で一位、日本中学校ダンス部選手権

全国決勝大会で審査員特別賞を受

種目	県大会(7月)・中国大会・全国大会・岡山市総体(8月)
野球	市総体 ベスト16
陸上競技	男子 県大会 総合2位 4×100mリレー1位(黒田・庭山・長崎・庄司) 400m3年庭山晴希1位・800m3年長崎航2位(以上全国大会出場) 中国大会 400m庭山1位・800m長崎3位・4×100mリレー1位 全中大会 400m庭山6位 市総体 総合2位 4×100mリレー1位 800m長崎1位(大会新) 200m庭山1位、庄司3位・3年1500m長崎1位・1年100m坂田2位 400m庭山2位・3年100m庄司2位
	女子 県大会 2年1500m山上愛莉3位(中国大会出場) 市総体 総合5位 3年100m 入山文那5位 200m入山4位 800m3年赤木聖菜6位 川上優里菜8位 3年1500m赤木1位 川上6位 2年1500m山上4位 3000m山上4位 4×100mリレー8位(2年石田・入山・2年石本・赤木)
サッカー	県大会 ベスト8
ソフトテニス	男子 県大会 個人ダブルス(2年松永凌・原田拓実ペア)ベスト16 市総体 団体ベスト4 個人ダブルス(3年新開尊・立石慧人)ベスト8
	女子 県大会 団体4位 市総体 団体ベスト4
水泳	市総体 男子200mリレー3位(3年津上・井上・2年近藤・湯浅) 女子50m背泳ぎ3年宇野心結3位 女子50mバタフライ1年上田萌華3位、200m自由形上田2位
バスケットボール	男子 市総体 3位
	女子 市総体 ベスト8
バドミントン	男子 県大会 ダブルス3位(3年小林泰知・山上真樹)中国大会出場 市総体 団体1位 3年ダブルス(小林・山上)1位 3年シングル小林2位 山上3位 2年ダブルス(安田悠琉・片山集成)2位 2年シングル安田3位
	女子 市総体 3年シングル山上菜乃子1位 山下絢子3位 3年ダブルス(山上・山下)3位
剣道	男子 県大会 団体ベスト8 市総体 団体ベスト8 個人3年宮脇大空ベスト8
	女子 市総体 団体3位 個人3年小原愛純2位・3年酒井乃愛ベスト8
柔道	男子 県大会 階級別 3年塚崎陽大1位 3年佐藤宏胤2位(中国大会出場) 中国大会 塚崎2位 全中大会 塚崎出場 市総体 団体2位 個人 塚崎1位 佐藤1位 3年石倉幸明3位
ダンス	全国ダンスドリル選手権大会 HipHop女子Medium編成1位 日本中学校ダンス部選手権西日本予選会 全国大会出場権獲得 日本中学校ダンス部選手権全国決勝大会 審査員特別賞受賞
吹奏楽	県吹奏楽コンクール 中学A部門 中国大会出場権獲得 中学B部門最優秀賞 全日本吹奏楽コンクール中国大会 中学校の部 金賞

賞、吹奏楽部は全日本吹奏楽コンクール中国大会中学校の部で金賞を受賞するなど活躍していました。生徒の活躍をまとめた一覧を



県大会1位で全中大会に出場を決めた選手



掲載します。賞が取れなかった生徒も、命努力し、それぞれの目標に向けて頑張っていました。コロナ禍ではありますが、みなさんの活躍、努力に拍手を送ります。



3年生最後の夏、真剣に監督の話を聞く選手たち

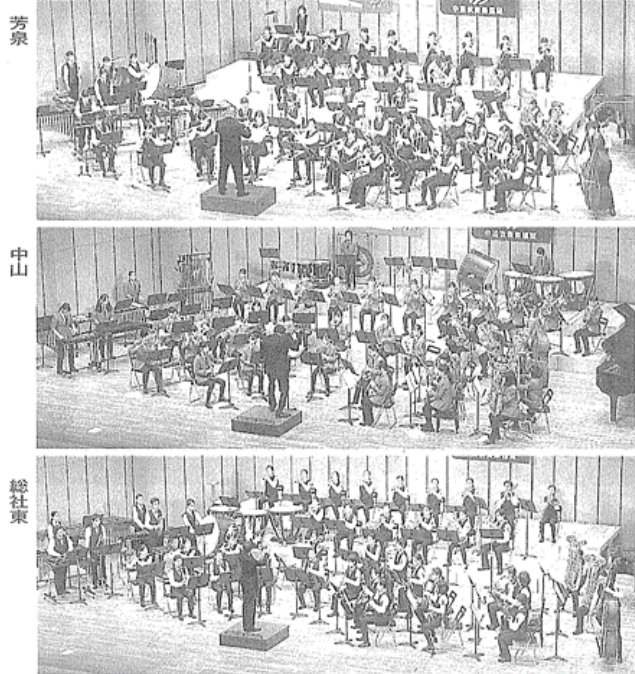


県大会で躍動するバスケット部の選手



横浜市で開催された中学校ダンス部選手権全国決勝大会で「審査員特別賞」を獲得し喜ぶダンス部員たち

三 楽 器 展 望



芳泉は自由曲で「フリースセル・レイクエム」を演奏して2回連続の金賞、知らせを聞き「やった」と叫ぶ部員もいたという。高田東乃部長(3年)は「思うように練習ができていない中、努力してきた結果、支え合いながら、良い演奏ができました」と話した。「ウイス・ハート・アンド・ヴォイス」を披露した中山は中国大会初出場で金賞を獲得した。岡田理彰部長(同)は「練習の成果が全部出せたと思います。拍手も最高でした。全国に行けず残念ですが、これまでがんばってきただけよかった」と話した。

8月22日の朝日新聞に掲載された「吹奏楽コンクール」の記事



芳泉・中山・総社東が金 中学の部 倉敷南・岡山操山銀賞



中国大会

21日の結果
真部長(同)は「全国を目指していたので、悔しい。でも、先生や家族の支えに感謝しながら、これまでの3年間で一番楽しく、心のこもった良い演奏ができた」と声を震わせた。

〔出演順〕◎は全国大会出場
◇中学校の部
〔金賞〕◎小部 山口、芳泉
〔銀賞〕◎大部 山口、操山
〔銅賞〕◎大部 山口、操山
〔出場〕◎大部 山口、操山、倉敷南、総社東、岡山